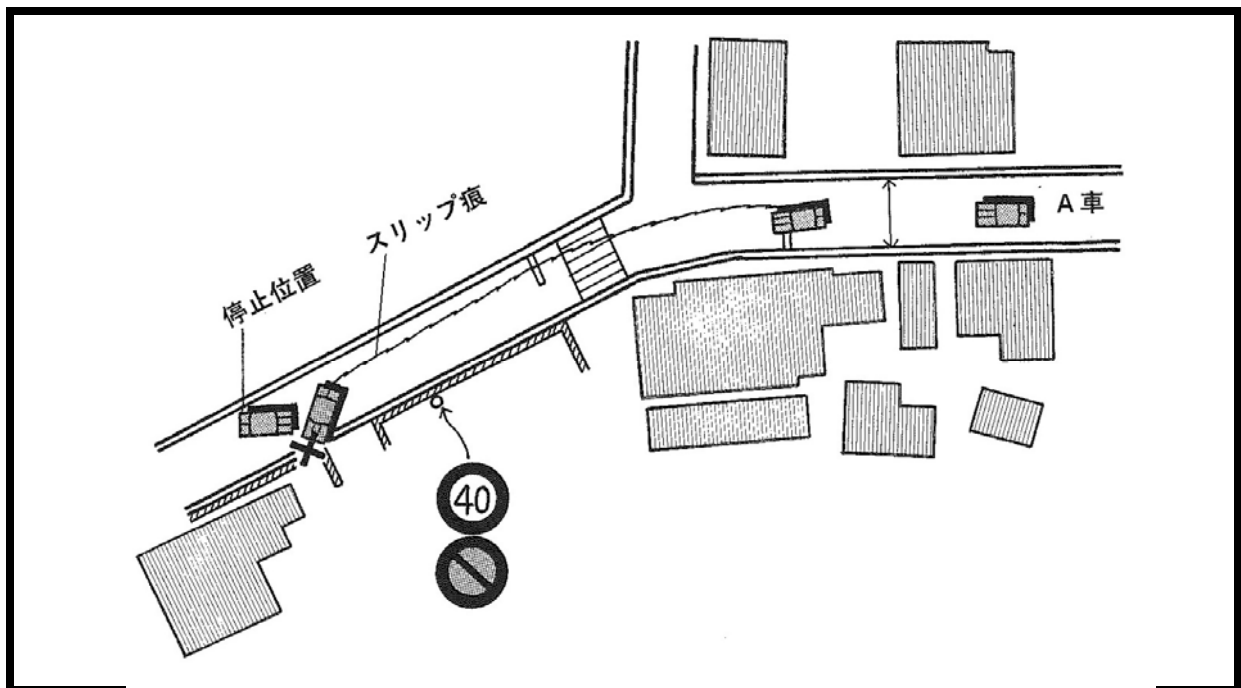


■事故の概況



事故類型：単独

発生日時：夜間

当事者A：普通乗用車 20歳代 男性

■ 事故の概要

Aは、照明のない交通閑散の一車線道路を前照灯を下向きにして時速約50～60kmで走行していると思っていました。左カーブにさしかかり、カーブが途中から急になっていることに気が付き、左に急ハンドル操作を行ったところ、車両が横滑りし、道路右側のブロック塀に衝突しました。

A車は実際には規制速度40kmを大きく上回る、時速約80～90kmで走行していました。

■ 事故から学ぶ

規則速度を約50kmも上回る速度超過で走行していたため、左カーブでのハンドル操作を誤ってしまいました。夜間は速度感覚がにぶり、昼間に比べて速度が実際に走行している速さより低く感じられるので、つねにスピードメーターで確認しながら走行しましょう。

曲がり角やカーブにおいて、高速走行で急ハンドルや急ブレーキ操作を行うと、横転や横滑りを起こしやすくなります。夜間、見通しの悪い交差点やカーブ手前では、前照灯を上向きに切り替えて、前方の道路状況を早めに確かめることが大切です。